

「京都マラソン2021」の開催方針について

京都マラソン2021大会について、7月31日に京都マラソン実行委員会を開催し、下記のとおり開催方針を決定いたしましたので、ご報告します。

1 開催方針

京都マラソンはこれまで延べ142,347人のランナーが京都のまちを笑顔で駆け抜け、その数だけの感動がありました。一人ひとりのランナーに、そして大会を支えていただいているすべての方に心から御礼申し上げます。

このコロナ禍における困難の中、京都マラソンを未来につなぐため、今回はオンラインマラソンという形で、皆様の前向きなチャレンジにエールを送りたいと考えました。京都に集まれなくても、心は一つ。元気で走れることを明日への力にして、京都を走る姿を想像しながら、新しい42.195kmを楽しんでいただきたいと考えています。

- 令和3年2月21日(日)に開催を予定していた、第10回目となる京都マラソン2021大会については、京都に集まらずに、いつでもどこでも参加することができる「オンライン京都マラソン2021(仮称)」を実施する。
- 全国のマラソン大会の中止が相次ぐ中、オンライン方式での実施により、ランナーのマラソンへの参加機会を確保する。
- コロナ禍における運動不足・ストレスの解消、健康の回復や、コロナ禍でランニングを始めた人をオンラインマラソン、そして次回京都マラソンへの参加に繋げ、裾野を拡げる取組とする。
- 加えて、ランナーの方々や、これからフルマラソンに挑戦しようとする方などを対象としたランニングイベントを実施する。
- 東日本大震災を風化させず、2021大会も鎮魂の大会として、京都から息の長い支援を継続する。
- 第10回記念大会の記念取組については、2021大会での実施を見送り、次回2022大会を、これまで京都マラソンに関わっていただいた関係者への感謝の大会とし、新たな第一歩と位置付けた企画を検討する。

※ 2020大会でエントリー後、ランナー受付を行わなかった中国在住のランナーの方及び次回出走権を贈呈した入賞者には、2022大会の出走権(参加料不要)を付与。

2 内容

【オンライン京都マラソン2021（仮称）】

(1) 趣旨・目的

次に掲げるテーマのもと、京都マラソンを忘れず応援し続けていただくとともに、コロナ禍でランニングを始めた人など、この機会に多くの方に将来の京都マラソン出走や、健康づくりに繋げていただく。

- コロナ禍における運動不足の解消や心身の健康の回復
- 次回大会はぜひ京都へ
- 体はディスタンスでも心は一つ
- 世界中どこからでも参加できる
- 医療・福祉に献身されている方への感謝（「支え合い基金」への募金）
- 東日本大震災を風化させない（「東日本大震災復興支援義援金」の受付）

(2) 内容

- ランニングアプリ「TATTA（タッタ）」を利用。京都マラソンのエントリーサイト「RUNNET（ランネット）」からエントリー
- 参加者各自が一定期間内（令和3年2月21日（日）までの1～2カ月程度）に、フルマラソン距離を走ることで完走
（コース自由、時間制限なし、複数回による合計距離でも達成可）

【ランニングイベント】

オンライン大会の実施に加えて、令和3年2月21日（日）大会予定日当日、西京極総合運動公園を会場に、ランナーの方々や、これからフルマラソンに挑戦しようとする方などを対象としたランニング教室など、ランニングイベントを実施予定

3 その他

オンライン京都マラソン（仮称）及びランニングイベントの具体的内容については、詳細が固まり次第、改めて説明させていただきたいと考えています。